

幼稚園 園児を対象にした草花の播種

作成者：公益財団法人日本花の会 和田 博幸

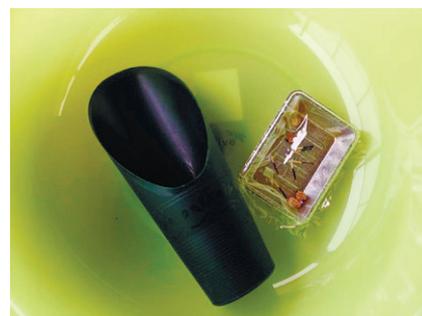
- 対象者・人数：50人まで
- 所要時間：45分
- 対象場所：こまつの杜（石川県小松市）
- 指導者・アシスタント人数：10人

<実践概要>

石川県小松市内の幼稚園とこども園の各1園を対象に、園庭や敷地の周囲に植える草花の播種とその育苗（鉢上げ）、花壇植栽等を春と秋の2回実施した。アシスタントはコマツ（企業）の定年退職者（以下、コマツOBという）で組織するNPO法人みどりのこまつスクスク会の里山部会のメンバーで、この部会は、日頃はその活動場所である「こまつの杜（公園）」で、主に里山エリアの植栽管理を担当している。杜内の花壇に植える花苗もこの花育活動を機会に同部会が自前で育苗するようになった。

■ 資材（播種）種から育てる場合

ビニールポット（3.5号）、播種用培養土と養土を入れておく洗面器、土すくい、鉢底ネット、種まきしたビニールポットを並べるトレイ、名前ラベル



小分けにした種子と土すくい

■ 資材（鉢上げ）発芽した苗から育てる場合

セルトレイ（128穴、発芽したもの）

ビニールポット（3.5号）、培養土と用土を入れておく洗面器、土すくい、果物フォーク（セル苗を抜き取り用）、鉢底ネット、種まきしたビニールポットを並べるトレイ、名前ラベル

■ 花材（播種・鉢上げ）

播種 ・キンレンカ、マリーゴールド

鉢上げ ・アゲラタム、ケイトウ・ホルン



ケイトウ・ホルン（左）、マリーゴールド（右）

■ 指導内容と目的

指導内容

幼稚園とこども園の園児を対象に、草花の播種、鉢上げ、育苗、植付け、花壇栽培という花を育てる一連の活動を体験させる。

アシスタントにコマツOB（人生経験は豊富だが園芸活動の経験は少ない）を就かせ、こども達と共に花づくりを学ぶ。

目的

1. 園児が自ら花を育てる体験を通じ、「やさしさ」や「美しさを感じる気持ち」を育む。
2. 体験を通して自然のすばらしさ、不思議さを感じ、自然を守る心や、自然科学への好奇心を育てる（将来の理科離れの抑制）。
3. コマツOBと園児とが一緒に草花を育てることによって世代間の交流をはかる。

■ 対象者への配慮

- ・対象者は園児で、集中力が長続きしにくいので、内容を複雑にせず短時間（30分程度）でできる園芸活動を選んで実施した。
- ・園芸資材や資材などは園児の人数分を事前に用意し、順番待ちの時間ができるだけないようにした。
- ・種まきや鉢上げする花の種類がきちんとわかるように、そして記憶にも残るように写真や実物を用意したり、全員で何度も花の名前を読み上げたりした。
- ・アシスタントは、園芸活動に慣れている者ばかりではないので、事前に進行シナリオを配布し、プログラムの実施直前にはスタッフミーティングを開いた。さらにリハーサルするなど、関係者全員がプログラム内容を十分把握してから実施した。
- ・園児たちが園芸活動を実際に体験することが大切なので、スタッフが園児の活動を代わって行うようなことは控えるようにした。
- ・班編成をとり、一班は園児10人未満とし、園児3人に対して1人のアシスタントが就くように体制を整え、園児が怪我や事故を起こさずに活動が行えるように注意を払った。
- ・園児の園芸活動では、一工程ごとに全員の作業がし終えたことを確認しながら進行させた。
- ・園児同士の資材の取り合いなどによる怪我や急なトイレを想定して、対応スタッフや救急スタッフ、救急箱の用意など、不測の事態にも備えた。
- ・保育士の先生方にも園児と同じ作業をしてもらい、園芸作業を体験してもらった。

1. 指導計画・スケジュール

活動 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
種まき	●					●						
セル苗の鉢上げ		●					●					
花苗の育苗		■					■					
花壇植付け	■		●	■				●	■			■
フラワーアレンジメント											●	

2. 事前の準備

■ 種から育てる場合（1人分）

- 春播き種：キンレンカ（2粒）、マリーゴールド（3粒）
 - 秋播き種：キンセンカ（1粒）、ストック（3粒）
- ※種は紙皿などに小分けしておく

■ セル苗（こまつの杜でセルトレイに播種したもの）から育てる場合

- 春の鉢上げ：アゲラタム、ケイトウ・ホルン
- 秋の鉢上げ：パンジー、ネモフィラ

※128穴のセルトレイでは、テーブルに置く量が多すぎるので、人数分にトレイをカットしておく

■ 園芸資材類

- 3.5号のビニールポット（人数分）
- 市販の培養土
- 鉢底ネット（人数分を切り分ける）
- 土すくい（2人でひとつを使用）
- 鉢トレイ（播種したポットやポット上げたポットを並べて持ち帰る）
- ジョウロ（3個程度）
- 洗面器（土を入れておく、2人でひとつを使用）
- ラベル（人数分、園で用意してもらう）



用意された資材類

■ その他

- 割り箸（セル苗をポット上げする際に、最初に培養土を入れる量の目安として線を引いておく）
- 果物用フォーク（セル苗をセルトレイから抜き取るのに使用）
- 救急箱
- 手洗い後の手拭タオル

3. 当日の流れ

【春播き草花】（キンレンカとマリーゴールド）

参加者数：園児約50人前後、講師1人、進行役1人、アシスタント約15人

10：00 講師とスタッフの紹介と施設の注意事項（3分）

10：03 今日の花育活動と花を育てるのに必要なものの説明（3分）

- ・種、土、光、水と「愛情」

10：06 花の説明（6分）

- ・キンレンカとマリーゴールドを別々に説明
（花の特徴、種の形、原産地や渡来の歴史など）
- ・花の写真やポット苗の現物を用意

10：12 キンレンカの種まき（10分）

- ①セットしてあった用土とポット、土すくい、鉢底ネット、種を各テーブルに配る（机の上に最初に物を置いておくと、園児が手を出して遊んでしまうので、最初は何も置いておかない）
- ②ポットに鉢底ネットをセットして用土を入れる
- ③ポットに入れた用土の表面に指で穴をあける（キンレンカは2ヶ所、マリーゴールドは3ヶ所。穴の深さは小指の爪が隠れるくらいの深さ）
- ④穴に種を入れる
- ⑤軽く土をかけて種を埋める
- ⑥ポットの土を上から軽く押さえる
- ⑦ラベルを立てる（園児の名前を書いたものを用意してもらう）
- ⑧芽が出るように全員でおまじないをかける
- ⑨ポットを鉢トレイに並べる



指で穴をあけて播種



播種後、ラベルを付ける



トレイに並べて水やり

10：22 マリーゴールドの種まき（10分）

- ・上記の②～⑨を行う

10：32 水やり（5分）

- ・班ごとにポットを並べたトレイを水やり場所に運びジョウロで水やり
- ・水やりが終わったら手洗い場で手を洗う
- ・水やりが全部終わるまで、園児は整列して待つ



発芽後の状況（キンレンカ）

10:37 終わりのあいさつ (3分)

- ・ポットを家に持ち帰った後の管理の仕方を話す
- ・園芸活動のふりかえり (花の名前やその特徴など)

10:40 終了 (お見送り)

【花壇苗 (セル苗) のポット上げ】

(アゲラタムとケイトウ・ホルン)

参加者数：園児約50人前後、講師1人、進行役1人、アシスタント約15人

10:00 講師とスタッフの紹介と施設の注意事項 (3分)

10:03 今日の花育活動と花を育てるのに必要なものの説明 (3分)

- ・苗、土、光、水と「愛情」

10:06 花の説明 (6分)

- ・アゲラタムとケイトウ・ホルンを別々に説明
(花の特徴、名前の由来、原産地や渡来の歴史など)
- ・花の写真やポット苗の現物を用意

10:12 アゲラタムのポット上げ (10分)

- ①セルトレイで発芽した苗、ポットと用土、土すくい、鉢底ネット、割り箸 (用土をポットに入れる際に量の目印に使う) を各テーブルに配る (机の上に最初に物を置いておくと、園児が手を出して遊んでしまうので、最初は何も置いておかない)
- ②ポットに鉢底ネットをセットして、最初に用土を入れる量に目印をした割り箸を立て、印のところまで用土を入れる
- ③セルトレイから発芽した苗を果物フォークを使って抜き取り、ポットの中央に移す (セルにフォークを挿すときは、いっきに差し込んでフォークに苗が乗っけるような感覚でゆっくり引き抜く。この時にフォークを左右に揺らしながら引き抜くと、セルの形が壊れてしまい根が傷む)
- ④セルトレイから抜き取った苗の土が隠れる程度にポットに用土を入れて、土を軽く押さえる (用土を入



ポット上げするセル苗



セルトレイから苗を抜き取る



トレイに並べて水やり



トレイに並べたポット上げ苗

れる時は、一方の手でセル苗をポットの中央に固定し、セル苗のまわりに土すくいを使って少しずつ用土を入れていくと苗が中央からずれずに中央に納まる)

- ⑤ラベルを立てる
- ⑥花苗が大きく育つように全員でおまじないをかける
- ⑦ポットをトレイに並べる

10:22 ケイトウ・ホルンのポット上げ (10分)

- ・上記の②～⑦を行う

10:32 水やり (5分)

- ・班ごとに鉢上げした苗を並べたトレイを水やり場所に運びジョウロで水やり
- ・水やりが終わったら手洗い場で手を洗う
- ・水やりが全部終わるまで、園児は整列して待つ

10:37 終わりのあいさつ (3分)

- ・ポットを縁に持ち帰った後の管理の仕方を話す
- ・今日行った園芸活動のふりかえり (花の名前やその特徴など)

10:40 終了 (お見送り)



スタッフミーティング



今日の注意事項を園児に説明



今日の活動内容を園児に説明



ポットに播いたキンレンカ



発芽したセル苗



園児が播種して発芽した苗

■ 実施する上での課題

【運営】

● 実施する幼稚園・こども園の選定

- ・小松市の担当課、幼稚園・こども園、こまつの杜（実施主体）の3者で調整が必要。できれば幼稚園・こども園と直接交渉ができるようになるとよい。

● スタッフの確保

- ・園児の場合は集中力が長く続かないことがあり、不測の事態も予測しなくてはならず、園児に対してきめ細かな対応が必要となる。そのためには十分なスタッフの人数を確保する必要がある。

● 施設利用

- ・こまつの杜では設備が整っているとはいえ、その都度机や資材、資材類を実施する場所まで搬入、搬出しなければならないので、その時間を見込んで計画を立てる。また、屋根のある施設だが風が抜けたり雨が吹き込んでくることもあるので、天候によって活動が左右されてしまうことがある。

● 日程調整

- ・同日に2園を対象に園芸活動を行うので、日程調整と、講師との調整が必要。

【実施】

● プログラム

- ・園児にはできるだけ簡単なプログラムを作成し、その成果が確実に現れるような内容で実施することが求められる。
- ・保育士にも園児と同じ園芸活動をしてもらい、園児が疑問に思ったり、困ったりしたときにその情報が共有できるようにしておくことと問題解決につながる。
- ・草花の播種や育苗は気候によって発芽や生育等が左右されることがあるので、フラワーアレンジや押し花などと比較するとリスクが高い。数量を余分に見込んで備えておく必要がある。

